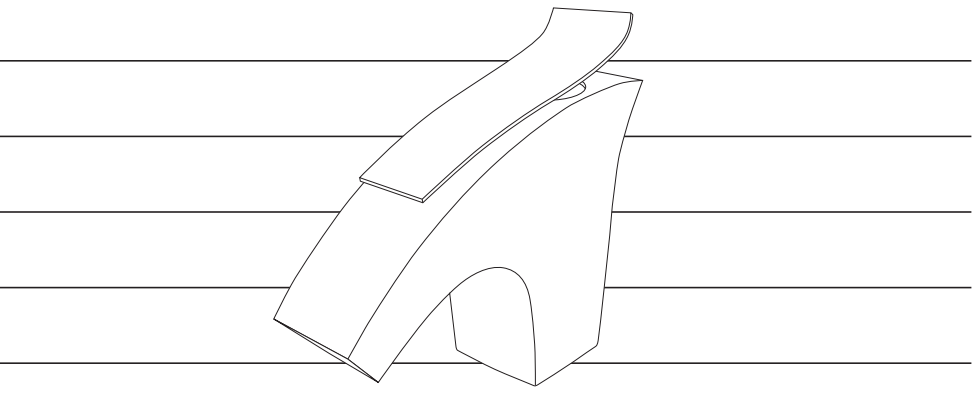
KAKUDAI

立水栓

台付タイプ　取扱施工説明書



施工前・使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

施工される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

このたびは、立水栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

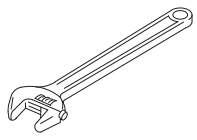
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意　取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

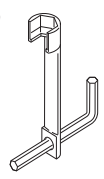
- ●温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- ●凍結の可能性のある場所には設置しないでください。凍結により器具が破損および故障する恐れがあります。
- ●無理な施工はしないでください。通水不良や器具破損の恐れがあります。

施工に必要な工具

●モンキーレンチ



●立カラン締め

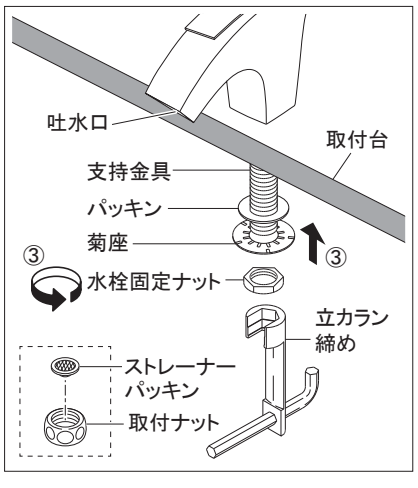


取付方法

＊数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

1. 水栓本体を取付けます。

穴径22～28ミリの場合



①支持金具よりパッキン、菊座、水栓固定ナット、ストレーナーパッキン、取付ナットを取外します。

②吐水口が正面を向くように取付台に差込みます。

③パッキン、菊座の順に支持金具に差込み、「立カラン締め」などで水栓固定ナットをしっかりと締付けて固定します。

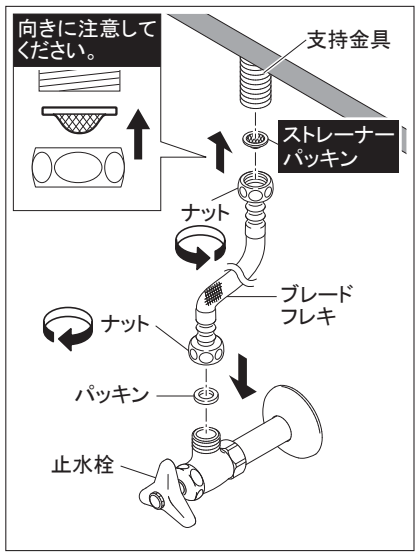
穴径35ミリの場合

＊取付穴径が35ミリの場合は、別売の107-823単水栓取付アダプターが必要です。取付方法は同梱の説明書を参照してください。

取付方法（つづき）

2. 止水栓と接続します。

ブレードフレキを使用する場合



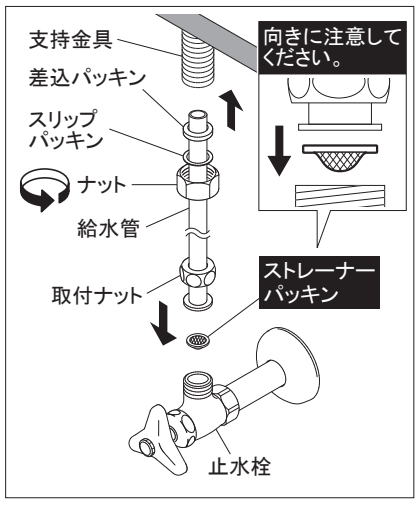
①「1.水栓本体を取付けます。」で取外したストレーナーパッキンをブレードフレキの一方のナットにはめ込んでから、ナットを支持金具に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

＊ストレーナーパッキンの向きに注意してください。

②ブレードフレキのもう一方のナットを止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

＊パッキンの入れ忘れに注意してください。

給水管を使用する場合



①給水管に、取付ナット、ナット、スリップパッキン、差込パッキンを順にはめ込みます。

②給水管を支持金具の奥までしっかりと差込み、ナットを「レンチ」などでしっかりと締付けます。

③「1.水栓本体を取付けます。」で取外したストレーナーパッキンを、取付ナットにはめ込んでから、取付ナットを止水栓に「レンチ」などでしっかり締付けて固定します。

＊ストレーナーパッキンの向きに注意してください。

⚠注意　止水栓と接続する際は必ず付属のストレーナーパッキンを使用してください。ストレーナーパッキンを使用しない場合、止水不良を起こす恐れがあります。

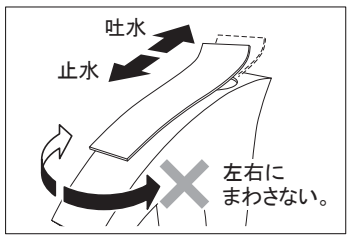
取付後の点検

①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。
漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。

②ハンドルを全開にして、水はねが少なくなるように止水栓を調節してください。

使用方法

●ハンドルの操作方法



ハンドルを奥へ押すと「吐水」、戻すと「止水」します。

⚠注意
- ●ハンドルは左右にまわさないでください。
- ●ハンドルはゆっくり操作してください。
- ●ハンドルを急に操作しますとウォーターハンマー（衝撃音）が生じ、配管から漏水を起こす恐れがあります。

お手入れのしかた

●器具のお手入れ

いつまでも美しくお使いいただくために。

●水栓器具の金属部は…
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。

●水栓器具のプラスチック部・塗装面は…
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

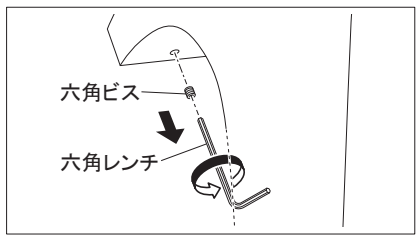
⚠注意　金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

裏面へ続く➡

お手入れのしかた（つづき）

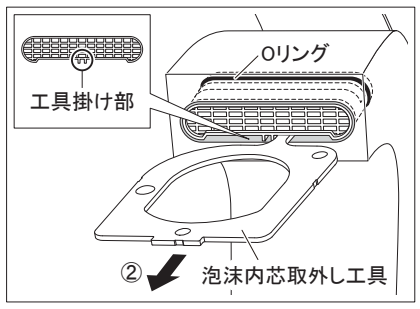
●泡沫内芯のお掃除

1. 泡沫内芯を取外します。



①「六角レンチ（対辺1.5ミリ）」を吐水口裏のビス穴に差込み、反時計方向にまわして六角ビスを取外します。

> ⚠ 注意　六角ビスをなくさないように注意してください。

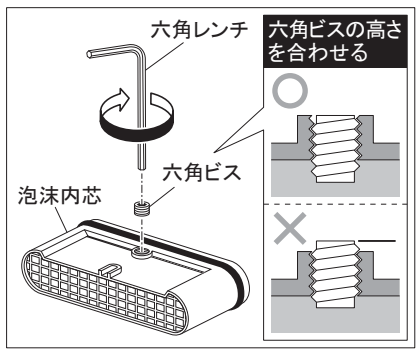


②付属の泡沫内芯取外し工具の先端を泡沫内芯の工具掛け部に引っ掛け、手前にゆっくりと引出し、泡沫内芯を取外します。

> ⚠ 注意　泡沫内芯のOリングを傷つけないように注意してください。漏水の原因となります。

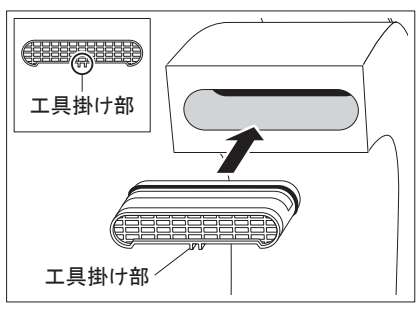
③ゴミなどの異物をブラシなどで泡沫内芯を水洗いして取除いてください。

2. 泡沫内芯を取付けます。



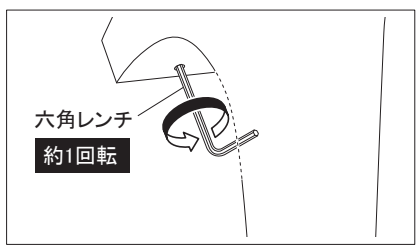
①掃除した泡沫内芯に、取外した六角ビスを泡沫内芯と同じ高さ（左記イラスト参照）になるように、「六角レンチ（対辺1.5ミリ）」でねじ込みます。

> ⚠ 注意　六角ビスをねじ込みすぎないように注意してください。ねじ込みすぎると泡沫内芯の中に入ってしまいます。



②泡沫内芯の工具掛け部が下になるようにして、吐水口先端に奥まで差込みます。

> ⚠ 注意　泡沫内芯の上下を逆に差込むと六角ビスを取付けできないので、注意してください。

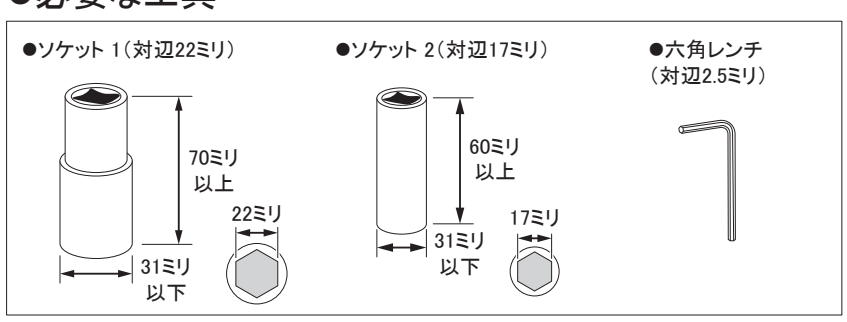


③吐水口裏のビス穴に「六角レンチ（対辺1.5ミリ）」を差込み、反時計方向に1回転ほどまわします。まわした後、泡沫内芯取外し工具で泡沫内芯が抜けないことを確認してください。

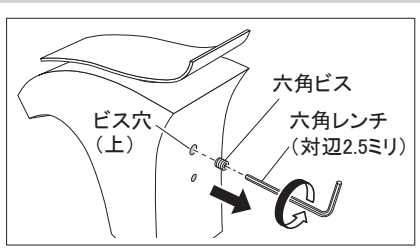
④作業終了後、各部から水もれがないことを必ず確認してください。水もれにより、家財を濡らす恐れがあります。

上部の交換方法

●必要な工具



1. 上部を取外します。

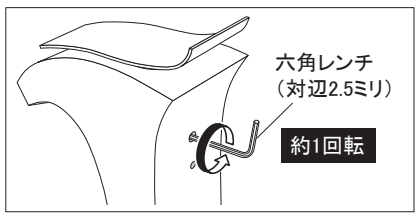


①本体裏のビス穴（上）に「六角レンチ（対辺2.5ミリ）」を差込み、反時計方向にまわして六角ビスを取外します。

> ⚠ 注意　六角ビスをなくさないように注意してください。

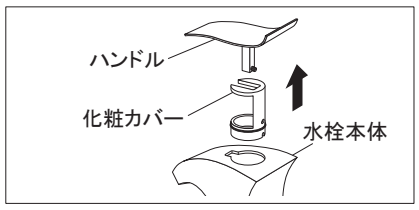
上部の交換方法（つづき）

1. 上部を取外します。（つづき）

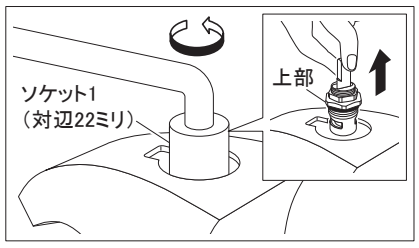


②同じビス穴（上）に「六角レンチ（対辺2.5ミリ）」を差込み、反時計方向に1回転ほどまわします。

> ⚠ 注意　六角ビスを取外さないように注意してください。水栓内部に落ちて取出せなくなる恐れがあります。

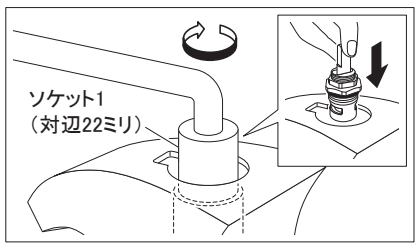


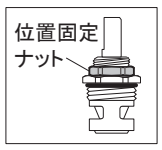
③ハンドル、化粧カバーの順に水栓本体から取外します。



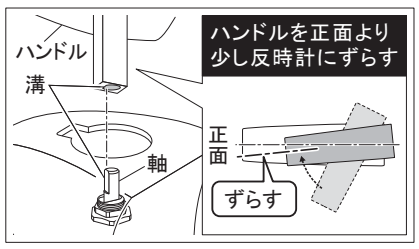
④水栓本体に「ソケット1（対辺22ミリ）」を差込み、反時計方向にまわして上部をゆるめてから手で取外します。

2. 上部を取付けます。

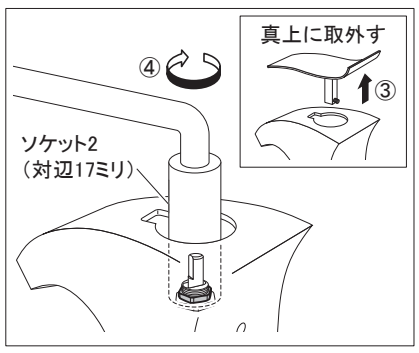




①新しい上部の位置固定ナット（右記参照）をあらかじめゆるめてから、水栓本体に取付け、「ソケット（対辺22ミリ）」を水栓本体に差込み、時計方向にまわしてしっかりと締付けます。



②上部の溝にハンドルの溝の位置が合うようにハンドルを差込み、ハンドルが水栓本体の正面より少し反時計方向（左記参照）になるように上部の軸をまわし、位置を調節します。



③ハンドルを一旦取外します。

④水栓本体に「ソケット2（対辺17ミリ）」を差込み、時計方向にまわし、位置固定ナットを締付けます。

＊ハンドルを差込み、ハンドルが正面を向かない場合は、再度「ソケット2（対辺17ミリ）」を差込み、反時計方向にまわし、位置固定ナットをゆるめ、②の作業を行ってください。

⑤「1.上部を取外します。」の①～③の逆の手順で組直してください。

こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、次の要領で点検を行ってください。

現　象		原　因	対処のしかた
吐水不良	全く吐水しない	●止水栓または元栓が閉まっている。	●止水栓または元栓を適正水量になるまで開く。
	吐水量が少ない	●止水栓または元栓が閉まっている。	●止水栓または元栓を適正水量になるまで開く。
		●泡沫内芯の目詰まり。	●泡沫内芯のゴミを取除く。
		●ストレーナーパッキンの目詰まり。	●ストレーナーパッキンのゴミを取除く。
吐水量が多い		●止水栓または元栓が開きすぎている。	●止水栓または元栓を適正水量に調節する。

株式会社カクダイ
本 社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1-4-4　☎(06)6538-1124

0818GF　M-B3301A

無断転載・複写を禁ず